

図) 調整池の分布状況

(2) 土地等の雨水貯留浸透機能

① 校庭、公園、駐車場その他広い土地を利用した施設

② 庁舎、病院、体育館その他の大規模な建物又は工作物

広い土地や大規模な建物等では、それらが有する空間を活用することにより、一定量の雨水を貯留または浸透させることができる。そのため、当該土地等の所有者は、本来の用途や機能を損なわない範囲内において、雨水貯留浸透機能を備えることが望ましい。

なお、計画地域内においては、126箇所の学校、147箇所の都市公園(3,000㎡以上)、111箇所の官公庁施設・大規模公共施設がある。

これまでの取組

国、県及び市町は、下表に示すとおり、学校の校庭、都市公園、庁舎、道路等において、雨水貯留浸透機能を備えるための施設を整備している。

主体	施設名	機能の概要	No
国	神戸地方法務局 伊丹支局	貯留量72m ³ 、浸透舗装、浸透柵 [伊丹市昆陽1]	
	国家公務員宿舎	貯留量823m ³ 、浸透柵(駐車場) [伊丹市昆陽東]	
兵庫県	尼崎総合庁舎	透水性舗装 500m ² 、貯留壁設置(延長 50m、高さ20cm)(駐車場)	
	伊丹庁舎	透水性舗装 50m ²	
	県住宅供給公社 賃貸住宅	貯留量73m ³ (地下)、浸透舗装、浸透柵 [伊丹市南町]	
	県道尼崎宝塚線他	透水性舗装91,904m ² ※ ¹	
猪名川町	町道上野5号線他	透水性舗装5,150m ² ※ ¹	
川西市	市道1号線他	透水性舗装31,695m ² ※ ¹	
	川西南中学校	貯留量748m ³ 、貯留水深10cm(校庭)	
	総合体育館	透水性舗装6,700m ² (駐車場)	
	プロペラ公園	浸透柵16箇所	
宝塚市	市道	透水性舗装5,156m ² ※ ¹	

(次ページへ続く)

注) Noは、次ページの事例写真の番号を表す。

(前ページからの続き)

主体	施設名	機能の概要	No
伊丹市	きたほんまち 北本町公園	貯留量524m ³ 、貯留水深56cm(地表)	
	いたみホール	貯留量900m ³	
	スワンホール	貯留量70m ³	
	市営浄水場	貯留量 4 m ³	
	市立図書館	貯留量120m ³ (地下)	
	市道山田伊丹線他	透水性舗装225, 236 m ² ※1	
	民間開発等※2	透水性舗装95, 211m ² 、浸透管787m、 浸透柵5, 745箇所	
尼崎市	双星高等学校	貯留量316m ³ 、貯留水深20cm(校庭)	
	もすりん橋公園	貯留量312m ³ 、貯留水深20cm、	
	戸の内公園	貯留量200m ³ 、貯留水深20cm、	
	市道等※3	透水性舗装19, 853m ² 、浸透管約30km、 浸透柵4, 696箇所、	
	民間開発等	透水性舗装72, 542m ² 、浸透管約129km、 浸透柵44, 744箇所	

※1) H25対策協議会資料を基に集計

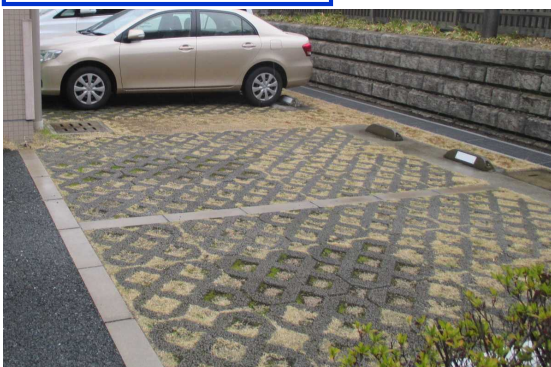
※2) 全市域 H23. 4時点

※3) 全市域 H26. 3時点(国、県の施工(開発)分を含む。)

注) Noは、以下の事例写真の番号を表す。

【雨水浸透の事例】

【駐車場】
神戸地方法務局伊丹支局

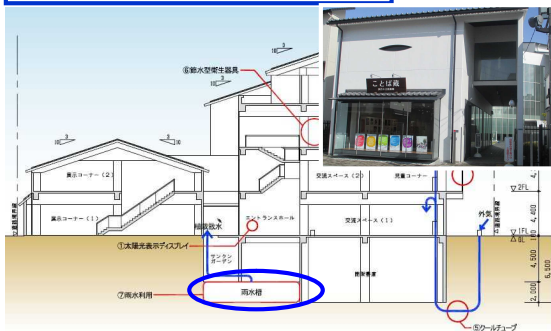


【駐車場】
兵庫県伊丹庁舎



【雨水貯留の事例】

【地下貯留】伊丹市立図書館



【校庭貯留】川西南中学校



【公園貯留】
もすりん公園(尼崎市)



【公園貯留】
戸の内公園(尼崎市)



今後の取組

これまでの取組を継続・発展させるとともに、建物等を新築・建替する場合、当該施設の所有者は、雨水貯留浸透機能を備えるよう努める。また、その機能維持を図るべく、適正に管理する。

なお、現時点で実施が具体化している取組を下表に示す(予定・検討中を含む)。

主体	施設名	備考
兵庫県	県営伊丹野間住宅	駐車場貯留
	県立尼崎高等学校	校庭貯留(平成28年度着工予定)
川西市	(仮称)中央公園	<ul style="list-style-type: none"> 地下貯留(800m³) 中央北地区特定土地区画整理事業

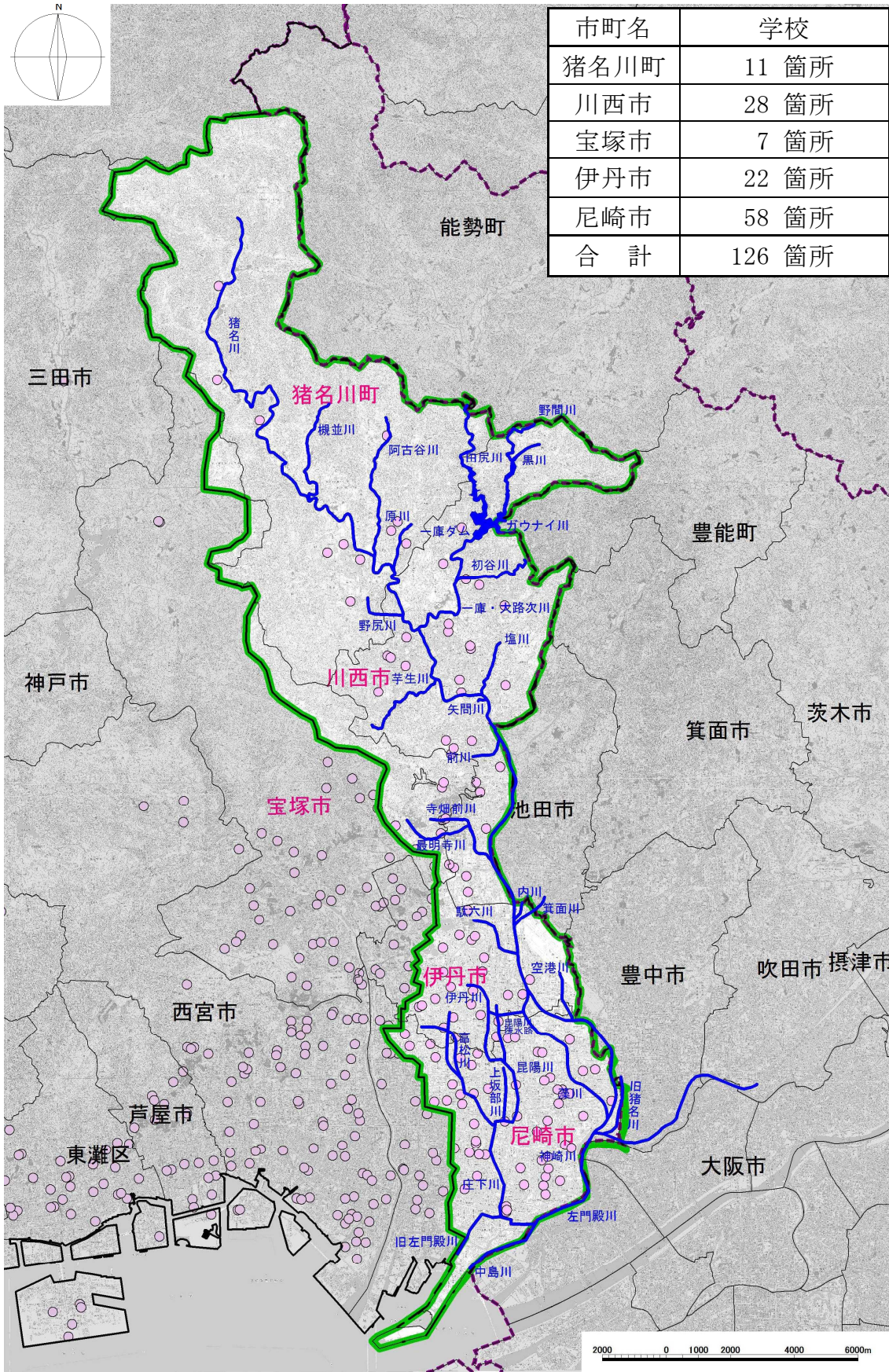


図) 学校の分布状況